

日 時	平21年2月21日(土) 16:45~17:00 七飯町文化センター スターホール	記 録	久貴 純子 犬石 恭子 辻合 伊佐子
参加者	大牟田市保健福祉課課長 七飯町保健福祉課長 七飯町保健福祉課 保健センター座長 七飯町保健福祉課 介護福祉係長 七飯町社会福祉協議会局長 七飯町包括支援センター 民生委員 西郷川町内会 会長 鶴町 町内会会長 大沼町 町内会 グループホーム花かぞく グループホームひだまり グループホームハッピー輝家 グループホームハッピー(Ⅰ、Ⅱ、おおぬま)	池田様 村瀬様 小島様 笠原様 竹田様 谷口様 鶴山様 西館様 首藤様 齊藤様 中島様、武内様 大堂様、藤野様	
題 目	・第7回運営推進会議開催記録		
大牟田市の地域のネットワークの醸成を振り返り			
花かぞく～私どもでは地域のかたに呼びかけ、多くの方に来ていただけるように、七夕などの行事で交流を深めています。今後も地域の皆さんとのふれあひの中で利用者様、地域の高齢者の方の支えになる様に頑張っていこうと思います。			
中村～	地域のネットワーク、取り組みの池田先生の講演を聞かれてどうでしたか。		
首藤様～	地域の取り組み等素晴らしい。私の町内会にも、返に選われたお年寄りがおられ、地域の会員が保護をした事があります。施設の方が寝えに寒られ、今まで楽しく子供と遊ばれていたのに、職員さんの顔をみるとホッとされて泣き出されたのを見て、本当に心細い思いをされていたんだな、と思い高齢者、認知症の方の気持ちがあったような気がしました。高齢者が増え認知症の方も多くなっていく中で地域の方、グループホームを含め、連携を取っていかないといけないと思いました。		
西館様～	私どもの町内会も75歳以上の方が167名おられます。高齢の方、特に独居の方の引き籠もりがないように声掛けしていますが、足がない、身だしなみがうまくできない、トイレが心配、と色々悩まれる上に、個人で車を出して事故でも遭った時に責任がとれない、と思うと二の足になります。町内会にも認知症の方がいて、月3回の安否確認等を行い、気を付けてはいるのですが。		

鶴山様～	地域の中でも認知症の方を家族が表に出さないようにしている家もあります。民生委員が見守ってはいますが民生委員もいない地域もあり、なかなか、把握が難しいです。
谷口様～	包括としても民生委員と疾患の持っておられる方については話し合いをしています。ですが、火事の心配もありますが、孤独死を経験してしまっ、お年寄りが独りでどこまで出来るか、生活できるかの見極めが難しいです。民生委員の不安や個人個人千差万別なので皆々地域の方の理解、協力を得る為にもこれからも発信していきます。
中島様～	母がお世帯になっっています。ホームでもやはり色々な面で地域との関わりは大事だと思います。行政、地域、専門職、医療、どの人達を抜かしても介護の問題は解決できないと思います。良い面を聞かせていただきました。
齊藤様～	うちの町内会では目配り、声掛けをやっています。行政として施設にどのぐらい支援していますか。
竹田様～	施設のお金の支援はありません。研修としてヘルパー、ケアマネの研修会と地域密着型の施設に運営推進会議に職員が出席しています。その時に地域の町内会や地域の方が参加されているので地域の情報を入れる場になっているので助かります。
竹田様～	七飯町でも25%が高齢者です。若い力をあてにしても駄目で、老人クラブ等で元気に活動されているお年寄りが多く、その方達をサポートして高齢化社会を乗り切れるのではと思います。目配り運動、除雪サービス、24時間の電話体制等、皆さんで助け合っていきたいと思っています。
池田様～	サロン事業はやっていますか。
竹田様～	サロン事業はやっていません。
池田様～	交流の場として運営推進会議をサロンの場としてお弁当を食べて和気相合とやるのも良いですよ。空き部屋を利用してお年寄りの共同住宅あればいいですね。
竹田様～	仁山に高齢者住宅があるが待機の方までいてなかなか入れません。生活支援ハウスのような物があればいいのですが、空いている家がれば3～4人の方が生活をし、またその場所が開放されてサロンのように集える場になるといいですね。
中村～	ホーム等に入居されることで、空き家になってしまう所も増えてきています。そういう所を雇用し、独居老人同士が共同生活出来るような場所を提供、新たに施設を建てるのではなく、あるものを使い、今後生活支援ハウスのような事をやっていきたいとは考えています。

首藤様～ 共同住宅で、高齢者も、障害者も受け入れますが、事業者が地域に打ち解けてくれないと地域の方も理解しないと思います。空き家なら色々あるので、建物を作るのは行政も大変だから高齢者の共同住宅をやって行けたらいいですね。

越山様～ 町内会には似たようなものはありますが、事業者が打ち解けてくれない現状もあります。私達も出来る事であれば、協力したいと考えています。

中村～ 事業者側のきちんとした説明と今後なにかあれば、協力したいという姿勢を見せることも大切だと思います。理解してもらおうという姿勢が大事。認知症の方でも、障害者の方でも何人かで暮らすことにより、少しでも予防できるのではないかと思います。

斉藤様～ 空家だと耐震調査とか問題にはならないのですか。

中村～ 家としてなので大丈夫だと思います。高齢の方が1人では不安だが2人なら安心して家で生活かできる住み慣れた地域を離れなくても、施設に入らなくても生活できる事は老年寄りにとっても良い事だと思います。

小島様～ 子育て支援員をやっています。池田さんの講演を聞き、子育ての専門家でも地域や認知症の方を点線一面になるように、良い種を蒔いたと思いました。どのような形かわからないが是非、子育ての面から高齢者支援を考えていきたいです。

斉藤様～ 講演も民間でありながら行ってくれました。行政の参考にして見習わないと。また、今回だけではなく次回もお願ひします。

首藤様～ このようなフォーラムは将来的にも行っていくますか。

中村～ 長期的に考えています。講演金を継続して行い、講師の方を呼ぶようにいたしますが参加の呼びかけ、声掛けには地域の方の力をお借りしたいです。福祉の輪が大きくなるようにと思います。

池田様～ 認知症の対応が、地域どこでも同じレベルのサービスや活動が受けられるようになればいいですね。福祉の輪が大きくなるように、これから頑張ってください。

中村～閉会